

# KTH・ICL との分野横断型グローバル人材育成のための 集中ワークショッププログラム

工学系研究科長 原田 昇  
国際工学教育推進機構長 関村 直人

**趣旨：**工学系研究科では、各専攻から推薦された優秀な学生に対し、連携大学の学生とのディスカッション（英語）の場を提供する。トップクラスの大学に学ぶ同世代の学生同士の交流を通じて、国際的な環境の中で分野の壁にとらわれず、自由な発想や構想の芽が生まれることを期待したい。

**訪問大学：**スウェーデン王立工科大学（KTH）・インペリアルカレッジ（ICL）他

**内容：**KTH において集中ワークショップを実施し、学生同士のディスカッションを行う。本プログラムは「大学の世界展開力強化事業」の一環として実施する。

**日程：**KTH&ICL 9月18日（火）～9月26日（水） ホテル泊（ホームステイを含む）

- 1日目（9月18日火）：移動日
- 2日目（9月19日水）：KTH 学生とのアカデミックな交流、キャンパスツアー
- 3日目（9月20日木）：講義参加・研究室訪問
- 4日目（9月21日金）：ウプサラ大学キャンパスツアー、自由行動
- 5日目（9月22日土）：英国へ移動
- 6日目（9月23日日）：自由行動
- 7日目（9月24日月）：ICL キャンパスツアー、研究室等訪問
- 8日目（9月25日火）：ケンブリッジ大学キャンパスツアー、研究室等訪問
- 9日目（9月26日水）：帰国

**対象者：**各専攻から推薦を受けた修士1年生 20名弱

**費用：**航空券・宿泊費を大学が負担する。

**プログラム実施主体：**国際工学教育推進機構 国際事業推進センター

**問合せ先：**【推薦、事業全般について】 石原、関口（内線 86413、20855） [tenkai@t-adm.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:tenkai@t-adm.t.u-tokyo.ac.jp)

【プログラムの内容について】 古市（内線 28826） [jp-class@t-adm.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:jp-class@t-adm.t.u-tokyo.ac.jp)

## 1) スウェーデン王立工科大学 KTH（スウェーデン スtockホルム）

スカンジナビアで最も大きな施設を持つ工学系大学。経営、経済の分野も強く、学生の起業をサポートするプログラムがある。3人のノーベル賞受賞者を輩出。



## 2) インペリアルカレッジ Imperial College（英国 ロンドン）

テクノロジー部門での世界大学ランキング4位という、世界でも指折りの理系大学。学生数の約40%が留学生という国際派大学でもある。ノーベル賞受賞者13人輩出。



注) 内容は変更することがあります。